
神からの贈り物。【イナイレ】

月影 凍月（更新亀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神からの贈り物。 【イナイレ】

【Nコード】

N 3 4 3 4 M

【作者名】

月影 凍月（更新亀

【あらすじ】

初めまして、僕は月影 凍月といます。

たまに俺口調になる奴です。でもれっきとした です。

僕はイナイレやVOCALOID、APH等に興味がありまして…

今回は、その中からイナイレの夢小説を書いて見たいと思います。

これはありがちなネタなので、既に執筆されている方が居るかもしれません…

あらかじめご了承下さい。

それから、これは小6クオリティの駄文ですので、読む時にはそれを心の中に置いて下さい。

では、ごゆっくりどうぞ…

ネタバレ章（前書き）

本当に思いつきりネタバレ！
マジで注意！

ネタバレ章

主人公：佐久間

<<<帝国で唯一のマネに思いを寄せる。

…が、帝国に新しく転校生が来て、帝国マネの場を奪ってしまった。

彼女は、仕草や行動がとても可愛らしい為、帝国学園の中で彼女を好かない人は居ない。

だから、かつてチームメイトだった筈の仲間までが異常な行動を見せる。

それに佐久間は腹を立て、チームメイトを嫌った。

佐久間がとても尊敬していた鬼道までも、だ。

実は、彼女は気まぐれな神の手によってここに来ていたのだ。

ある日、佐久間は退部届けを手に取った。

勿論、あの大切なマネージャーと一緒に辞めようと思っていた。

しかし、マネージャーは。

「皆がこうなってしまったのは私のせい。

だから、私が皆を元に戻してあげないといけないの。」

と、それだけ言うともたまたマネージャーの仕事を始めてしまった。

（勿論、もう1人のマネは仕事などしていない。

だから、皆がサボるようになってマネージャーの仕事は大幅に減った。）

佐久間は、そんな優しいマネージャーを見て、

（何で皆は解ってくれないんだ）

と心の中で呟いて退部届けを握りつぶした。

（ どうしてだよ 何で 解って くれねえんだよ ！ ）

- - -
- - -
- - -

帝国で唯一のマネ：天音 星羅

<<<帝国の皆が大好き。

皆が一生懸命練習している姿が好きで、

帝国にマネージャーは要らないと言う総帥に何度も頼んでマネージャーになった。

が、 皆は、初め帝国にマネージャーが出来た事にとっても驚いていた

彼女の優しさなどの気持ちを認めて、しだいに受け入れていつてくれた。

しかし、そこに例の彼女（ ）が来て居場所を盗られてしまう。

皆が異常な行動をするのを見て、

（こうなってしまったのは私のせい。

だから、私が皆を戻してあげないといけないの。）

と、責任感を感じて佐久間の誘いを断り、残り少なくなった仕事を続けた。

彼女は、佐久間に一目惚れをしていた。

皆、1人目のマネを迎える時よりも歓迎していた。

ただ、1人を除いて。

佐久間次郎、彼に祝つて欲しかったのに。

彼に歡迎して欲しかったのに。

彼は、あのマネージャーの元へ行っていた。

それを見た瞬間、彼女の中には今まで無かった感情が生まれた。

許せない、あの娘。

居場所を奪ってやる！

とても可愛い彼女にとって、それはとても容易い事だった。

「帝国のマナージャーは1人で十分だ、もう1人など必要ない。」

（ほらね 私には 手に入らないものなど 無いのよ！）

- - - - -

死神：月影 凍月

<<<死神。情報という情報が無い。

ある日、帝国学園サッカー部に総帥が向かったのを見て。

あることに、気がついた。

（許せない 総帥まで 何で 皆は 解ってくれねんだよ
！）

「あの子…素晴らしい憎悪ね！」

彼女は口角をあげて。

地上へと、降り立った。

（さあ、もっと憎みなさい！
憎んで 怨んで 妬めば 全ては 終わるのよ！）

- - - - -
- - - - -
- - - - -

死神が信頼する神：亜風炉 照美

<<<アフロディと呼ばれる、元世宇子中のキャプテン。

今は、たまに学校に帰る程度で凍月と一緒に居る。

凍月とは仲が良く、いつも一緒に過ごしている。

ある日、凍月が地上へ行くのを見つけて、

（彼女が地上へ行くなんて…何かあったのだろうか。）

と、疑問を懷いたので跡を着ける事にした。

（彼女が降りるなんてね、滅多に無いから。）

序章

2010年、あるところに帝国学園という気高い学園がありました。と、言っても近くにある”学園”と呼ばれる建物を指しただけでも、数百万は存在する。

即ち、その存在は無限大である

世界は、天界と呼ばれる神聖な場所で神々達によって管理されていました。

しかし、天界の頂点に立つ偉大なる神は、とても気まぐれでした。

その神が、ある時帝国学園を見ていて思いついたのです。

（もし、ここに可愛い少女を連れてきたら、
周りの者にはどの様な変化が起きるのだろうか。）
と

そして、神は世界のあらゆる所を探しました。
すると、ある所にとっても可愛い農民の貧しい女の子を見つけました。

（よし、この娘を連れて行こう。）

そして、神様は気まぐれで学園を選び、
気まぐれで人を選び、

気まぐれで、帝国学園へと送り込みました

全ては、この気まぐれから始まって。

この気まぐれが、大切なものを壊して。

そして

とある少年の、苦しみへと化したのです。

（ 適當すぎる（あらすじ）END！！！！！ ）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3434m/>

神からの贈り物。【イナイレ】

2010年10月9日12時01分発行